

各 位

2022年11月18日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

「わたしたちは動物のことをぜんぜん知らない」。動物行動学者の爆笑科学エッセイ、濃度 150%アップで文庫化！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、ヤマケイ文庫『カラスはざる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か？』（松原始／著）を刊行いたしました。



◎宮部みゆき氏（読売新聞 2020年10月18日書評より）

「本書は、動物行動学の入門書として楽しく、新鮮なびっくりもいっぱいだ。」

TBS ラジオ「安住紳一郎の日曜天国」、読売新聞、東京新聞、週刊現代など、各メディアで絶賛された一冊が文庫になりました。

かわいい、怖い、賢い、頭が悪い、汚い、ずるい——人間が動物たちに抱いているイメージは果たして本当か？ カラスの研究者である著者が動物行動学の視点から、さまざまな動物たちにつきまとう「誤解」をときあかしていきます。

カモメはカラスと同じ、ゴミ漁りの常習犯。
 一匹狼は、孤独を好んでいるわけじゃない。
 ハゲタカは、ハゲだから清潔に生きられるのだ！

真剣で切実で、ちょっと適当だったりもする彼らの真の生きざまが見えてきます。
 文庫化にあたり、書き下ろしの原稿とイラストを収録。



代表的な愛され系。
 シマエナガではなく太眉のあるエナガと、スナメリ。
 正面顔のかわいさといったら……。

も、シマエナガみたいな真っ白い顔のエナガがいる。
 この辺り、地理的な条件と実際の遺伝的な隔離が必ずしも一致していない可能性もあるし、同所的にちょっと変わった形質が固定されている可能性もあって、少々やっかいである。
 あと、個人的な好みを言うと、エナガは目の上に「眉毛」がある方が好きだ。シマエナガの正面顔が反則レベルでかわいいことには同意するが、普通のエナガだって太眉でかわいいということは、ここで力説しておきたい。
 それともかく、エナガのかわいさは、その圧倒的小ささにある。全長（嘴から尾の先まで）は14センチヒススメ程度だが、エナガの体の半分以上は尾なのだ。尻尾を

21 Part 1 見た目の誤解

20



カレドニアガラスのフックツール。
 手も使わずに作るってすごくない？

道具を自分で作るカレドニアガラス

さて、この道具使用について、鳥の中でトップレベルにあるのが、カレドニアガラスである。
 カレドニアガラスはニューカレドニア島に分布するが、1990年に衝撃的な発表があった。カレドニアガラスは野生状態で、道具を自分で作って使うのだ。ヒトとチンパンジーにしかできないはずだった、道具製作者の地位にいきなり入ってきたのである。
 これは、人間が漠然と考えていた、「ヒトくらい知能が高くて手先が器用じゃないと道具を作れない、チンパンジーはヒトに準ずるからそれくらいやるけどね」という思い込みをひっくり返すことだった。
 カレドニアガラスの道具は、穴や隙間に潜む餌を引っ張り出すためのものだ。例えば、葉をちぎって葉柄だけにしたツールを使い、倒木の穴の中に潜むカミキリムシの

119 Part 2 性格の誤解

118



さて、「実はカードに書かれたアルファベットと数字にはルールがある。片面が母音なら、その裏側は偶数でなくてはならない」と言われた場合、ルールが正しいことを確かめるには、最低限、どのカードをめくらなければならぬか？

正解は「△」と「7」だ。

「母音の裏が偶数である」と、およびその対偶である「奇数の裏は子音である」とことを確かめればいい。ところが、多くの場合、人間は「4」の裏が母音であることも確かめながら、問いをよく見ると「偶数の裏が母音」とは言っていないので、「4」の裏を確かめる必要はない。

だが、人間は「お、やっぱり正解」という例を集めたがるのだ。おそらく、「あるルールが適応されているというけど、ほんと？ ちゃんとルール守られているの？」という点を、何度も確かめなくてはならない。正解が増えるほど、この世の現実さが増す、とでもいうように。だから、母音の裏は偶数を確かめたあと、「偶数の裏は母音だよ」という一対一対応を確かめたがる。

また、進化心理学者のコスミウスによると、人間は裏切り者の顔を見えるのが早い。さらに、論理的には犯人が特定できない場合でも、「あいつは裏切りものっぽい」という証拠があると、とっさに「あいつが犯人」と決定しがちである。



わたしたち秋冬は、参加する個体が増えるようだ。

つまり、彼らは生涯のどの段階の、どの季節の、どの時間帯かによって、群れるかどうかが変わるわけだ。同じクラス属でもミヤマガラスやイエガラスは繁殖する時も集団になるから、近縁種の間でも事情は違う。

「一匹狼」なんていう言葉があるが、オオカミは群れる。彼らはパックと呼ばれる集団を作って暮らすのが基本だ。「二匹狼」とわざわざ「二匹」をつけるのは、「オオカミなのに群れずに一匹でいる」という意味である。群れを離れて移籍先を探している若い個体などを指す言葉だ。

オオカミはアルファオオカミ（最上位オオカミ）を中心として集団を作るが、その個体数はあまり多くはない。3頭から、せいぜい10頭くらいである（一応、42頭という記録はあるらしいが）群れは親子や兄弟姉妹など血縁者からなることが多いが、しばしば、よそから移籍してきた非血縁者（つまり、もと一匹狼だ）も入っている時がある。

繁殖はアルファオオカミとその連れ合いのアルファメスが行うが、他の個体も子育てを手伝う。オオカミはかつて悪魔のごとく嫌われたが、1970年代からは「我が子でなくても子どもを育てる」として、一匹、「大いなる自然の象徴」扱いされたこともある。だがこれは、基本的には血縁ゆえのことである。血縁者の子育てを手伝うのは

●内容

PART1 見た目の誤解

1. 「かわいい」と「怖い」カモメはカラスと同じ、ゴミ漁りの常習犯
2. 「美しい」と「醜い」ハゲタカはハゲだから清潔に生きられるのだ
3. 「きれい」と「汚い」チヨウは花だけじゃなく糞にもとまる

PART2 性格の誤解

4. 「賢い」と「頭が悪い」胸像認知できるハトとできないカラス、賢いのはどっち？
5. 「やさしい」と「ずるい」カッコウの托卵は信じられないほどリスク
6. 「怠けもの」と「働きもの」ナマケモノは背中であせとコケを育てている
7. 「強い」と「弱い」コウモリの飛行能力は戦闘機並みに高い

PART3 生き方の誤解

8. 「群れる」と「孤独」一匹狼は孤独を好んでいるわけじゃない
9. 「亭主関白」と「恐妻家」ライオンのオスはトロフィー・ハズバンド
10. 「子煩悩」と「放任主義」カラスの夫婦だって子育てに苦勞する

〔文庫版書き下ろし〕

学者だからってホニャララだと思ふなよ ～研究者そして科学の誤解

イラストレーション／木原未沙紀、ブックデザイン／高柳雅人

●著者略歴

松原始(まつばら・はじめ)

1969年奈良県生まれ。京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科博士課程修了。専門は動物行動学。東京大学総合研究博物館・特任准教授。研究テーマはカラスの行動と進化。

著書に『カラスの教科書』『カラス屋の双眼鏡』『鳥マニアックス』『カラスは飼えるか』など。

「カラスは追い払われ、カモメは餌をもらえる」ことに理不尽を感じながら、カラスを観察したり博物館で仕事をしたりしている。

●書誌データ

書名：ヤマケイ文庫『カラスはずる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か?』

著者：松原始

発売日：2022年11月17日

定価：990円（本体900円＋税10%）

352ページ／文庫判／1色刷

<https://www.yamakei.co.jp/products/2822049560.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：綿

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>